（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ふるさと探究「担い手育成」事業
事業主体 （連絡先）	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野市穂高柏原 1132-2
事業区分	（３）教育文化の振興に関わる事業　（５）環境保全・景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,119,580 円（うち支援金：822,000 円）

事 業 内 容

・今後の担い手となる大学生、教員、市民等を対象に、安曇野市教育委員会との共催による育成講座を開催し、その内容をまとめてハンドブック（実践編）を作成。
・探究学習支援サイト「ふるさと探究安曇野」内の担い手育成のページを更新し情報発信。
・市民や教育関係者等を対象としたパネル展やフォーラム等で広く市民に広報

【大学生の学校体験講座】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・官民学の連携により開催した育成講座 19 講座に延 129 名が受講
・小中学校での探究学習支援は 10 講座 22 クラスで実施
・育成講座の継続な実施により今後の担い手となることが期待できる。

（開催実績）
・育成講座　　19 講座【計画 10 講座】
　　（大学 10 市民 4 教員 5）
・育成講座受講者　延 129 名【計画 70 名】
　　（大学 16 名市民 31 名教員 82 名）
・小中学校の実践　延 10 講座 22C【計画 15C】
　　（小学 7 講座 13C 中学 3 講座 9C）

【目標・ねらい】

① 担い手育成講座の開催
② ハンドブック（実践編）の作成
③ 担い手育成の情報の発信

※自己評価【A】

【理由】大学、市民、教員を対象とした育成講座に延 129 名が受講。講座のポイントと事例を「ふるさと探究ハンドブック（実践編）」としてまとめた。また、市民や教員を対象としたフォーラムやパネル展、「ふるさと探究安曇野」サイトにて、情報発信を行った。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域講座の増加やインターンシップの受入れ等により、大学生向けの体験講座を拡充すると共に、引き続き安曇野市教育委員会と連携して市民向けの体験講座や教員向けの実務講座を開催する。また、基礎編実践編を含む 3 年間の講座内容を「ふるさと探究ハンドブック」としてまとめ、担い手育成のツールとして活用すると共に、官民学の連携により持続可能な小中学校での地域探究学習へとつなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある